

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）							3 事業評価（Check）					
基本政策		第4章 基本政策 4 にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域		第4節 生活環境					事業の必要性 【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目		施策1 安全で快適な環境の創出					事業の効率性 【見直す余地】		B	A：余地はない B：余地はある		
事業		不法投棄対策					施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属		環境課					事業の成果・分析		不法投棄回収の委託化に関して、計画どおりに実施はされている。しかしながら、集積所に対する投棄物の回収に関しては、集積所の管理は利用者であること等を踏まえると一考の必要がある。 また、費用面について、細かい不法投棄物まで委託した場合、件数が非常に多いことから、比例して委託金額も大きくなるため、職員が回収可能なものについては、可能な限り回収した方が支出を抑えることができると見込まれる。			
事業概要		公道等の不法投棄物については、業者に回収業務を委託する。 職員が市内を巡回中に発見した場合や市民から通報があった場合は、業者に連絡し、回収を行い、分別して処分する。 不法投棄禁止に関する看板を作成し周知を図る。										
実施形態		■市が直接実施 ■一部委託 □全部委託・指定管理 □その他										
実施根拠		□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度										
根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律										
2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）					
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		
予算・決算	予算現額（円）		9,985,000		11,406,000							
	財源内訳	一般財源	9,985,000		11,406,000							
		特定財源等	0		0							
	支出済額（円）		8,855,078		10,240,527							
	不用額（円）		1,129,922		1,165,473							
執行率（％）		88.68%		89.78%								
実施内容		年度末に処理困難物の廃棄を業者に依頼した。 コンクリートガラ 0.5立方、混合廃棄物 2立方メートル、タイヤ 15本、廃油液類 70kg、スプレー缶類 47kg、消火器 6本、冷蔵庫 2台、テレビ 9台 また、市民から不法投棄に係る通報が215件あり、業者に依頼し、又は職員が回収する等の対応をした。										
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		
活動指標・成果指標	指標名	単位										
	不法投棄件数	件	143		215							
今後の方向性		II		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了								
今後の取組方針		現状では、公道といった場所の不法投棄の回収についてほとんど委託していたが、職員が回収できる比較的小さいものは市で回収を行い、粗大ごみや原動機付自転車等の個人が回収するのが困難なものを事業者に委託するものとする。 また、集積所に関しては、不法投棄であるか否かの判断を行い、不法投棄と判断した場合は回収を実施することとする。										

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）

基本政策	第4章 基本政策4 にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】
施策領域	第4節 生活環境
施策項目	施策1 安全で快適な環境の創出
事業	スズメバチ駆除
所属	環境課
事業概要	衛生害虫であるスズメバチは、不特定多数の市民に被害を及ぼし、刺された場合には生命の危険にさらされることもあるため、公共施設にできたスズメバチ等の巣について、専門業者に駆除を委託する。 また、専門業者に依頼してスズメバチの巣を駆除した市民等に対する補助を行う。
実施形態	☒ 市が直接実施 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☐ その他
実施根拠	☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度＋市独自の制度 ☒ 市独自の制度
根拠法令等	新座市スズメバチの巣駆除費補助金交付要綱

3 事業評価（Check）

事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
事業の必要性 【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
事業の効率性 【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある
施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
事業の成果・分析	市民や公共施設からのスズメバチの駆除の依頼については、駆除業者と連携して迅速な対応が図られている。 また、公共施設含め160件の実績があることから、一定のニーズはあるといえる。	

2 事業実績（Do）

年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額（円）		1,662,000	2,049,000			
	財源内訳	一般財源	1,662,000	2,049,000			
		特定財源等	0	0			
	支出済額（円）		1,617,228	1,963,200			
	不用額（円）		44,772	85,800			
執行率（％）			97.31%	95.81%			
実施内容			市公共施設に営巣したスズメバチやアシナガバチ等の巣について、専門業者に駆除を委託した。 また、民有地に営巣されたスズメバチの巣を専門業者に依頼し駆除した市民等に対する補助を行った。 ・公共施設38件 ・民地（補助）122件				
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	指標名	単位					
活動指標・成果指標	公共施設駆除件数	件	25	46			
	補助金交付件数	件	132	122			

4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）

今後の方向性	Ⅲ	I：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了
今後の取組方針	今後についても、市公共施設に営巣されたものは施設管理の観点から市が駆除を委託により実施し、民有地に営巣されたスズメバチの巣の撤去については補助事業として実施していく。	

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)

基本政策	第4章 基本政策4 にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】
施策領域	第4節 生活環境
施策項目	施策1 安全で快適な環境の創出
事業	駅前公衆トイレ管理
所属	環境課
事業概要	志木駅前及び新座駅前の2か所の公衆トイレの管理を行う。 不特定多数の利用者がいることから汚れる度合いも高いため、日常清掃及び定期清掃を行い、常に清潔に利用できるよう管理する。
実施形態	☐ 市が直接実施 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☒ その他
実施根拠	☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度＋市独自の制度 ☒ 市独自の制度
根拠法令等	なし

3 事業評価 (Check)

事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
事業の必要性 【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
事業の効率性 【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある
施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
事業の成果・分析	一部の市民の利用マナーが徹底されていないことや、異物を流して詰まらせてしまう等の問題が頻繁に発生するため、公衆トイレを清潔に維持管理するには現状の清掃回数は最低限必要である。	

2 事業実績 (Do)

年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額（円）		5,950,000	5,595,000			
	財源内訳	一般財源	5,950,000	5,595,000			
		特定財源等	0	0			
	支出済額（円）		5,796,186	5,466,580			
	不用額（円）		153,814	128,420			
	執行率（％）		97.41%	97.70%			
実施内容			志木駅前公衆トイレ及び新座駅前公衆トイレそれぞれ毎日（2回）清掃を行う日常清掃、月1回専門的な清掃を実施する定期清掃を実施した。				
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	指標名	単位					
活動指標・成果指標	日常清掃回数	回	1,460	1,460			
	定期清掃回数	回	24	24			

4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)

今後の方向性	IV	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
今後の取組方針	公衆トイレの清潔を保つため、今後も同様に清掃委託にて業務を行っていく。 また、利用マナーに関する周知を、広報や貼り紙等により定期的に行っていく。 (新座駅前公衆トイレの日常清掃については、JR新座駅再開発プロジェクトに係る原状回復工事により令和7年5月末まで完了)	

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）							3 事業評価（Check）									
基本政策		第4章 基本政策 4 にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】					事業の実施状況		B		A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず					
施策領域		第4節 生活環境					事業の必要性 【市民ニーズ】		A		A：高まっている B：変わらない C：薄れている					
施策項目		施策1 安全で快適な環境の創出					事業の効率性 【見直す余地】		B		A：余地はない B：余地はある					
事業		路上喫煙防止					施策への貢献度		A		A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い					
所属		環境課					事業の成果・分析				路上喫煙防止パトロールについては予定どおり実施がされた。 パトロール時間に関しては、現在午前6時30分から午前8時30分までの通勤時間内に実施することができている。 R6年度から、パトロールの頻度は上げるため、委託先をシルバー人材センターに切り替え、パトロールの日を週2日から週5日に変更した。1年を通して注意件数が減少しており、一定の成果を得た。					
事業概要		新座市路上喫煙の防止に関する条例に基づき、路上喫煙禁止地区に指定している志木駅、新座駅及びひばり通りの周辺において、路上喫煙防止の周知・啓発を図るとともに、路上喫煙防止パトロールを業務委託により実施する。														
実施形態		■市が直接実施 ■一部委託 □全部委託・指定管理 □その他														
実施根拠		□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度														
根拠法令等		新座市路上喫煙の防止に関する条例														
2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）									
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の方向性		Ⅲ Ⅰ：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了		
予算・決算	予算現額（円）		2,907,000		1,671,000											
	財源内訳	一般財源	2,907,000		1,671,000											
		特定財源等	0		0											
	支出済額（円）		2,906,530		1,623,465											
	不用額（円）		470		47,535											
執行率（％）		99.98%		97.16%												
実施内容		路上喫煙禁止地区に指定している志木駅、新座駅及びひばり通りの周辺において、路上喫煙防止の周知・啓発を図るとともに、新座駅周辺路上喫煙禁止地区内の路上喫煙防止パトロールを業務委託により実施した。 ・業務日数：242日 ・業務時間：午前6時30分～午前8時30分					今後の取組方針		路上喫煙防止の啓発・周知については引き続き広報等を通じて実施し、路上喫煙防止パトロールについては、通勤時間である午前6時30分から午前8時30分までの時間帯で実施していく。							
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度						令和8年度		令和9年度		
活動指標・成果指標	指標名	単位														
	路上喫煙防止パトロール委託日数	日	104		242											

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）							3 事業評価（Check）								
基本政策		第4章 基本政策4 にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず					
施策領域		第4節 生活環境					事業の必要性 【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている					
施策項目		施策1 安全で快適な環境の創出					事業の効率性 【見直す余地】		A	A：余地はない B：余地はある					
事業		環境ボランティア					施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い					
所属		環境課					事業の成果・分析		ボランティア清掃活動や違反広告物撤去により、街並みがきれいに保たれている。 活動者の高齢化や猛暑により安全な活動を確保できるかが課題である。						
事業概要		環境美化・環境保全に係る次のボランティア活動を展開する。 にいごまち美化パートナー/違反簡易広告物除去推進員/地域クリーン活動/新座市環境保全協力員/その他のボランティア団体による清掃活動													
実施形態		■市が直接実施 □一部委託 □全部委託・指定管理 □その他													
実施根拠		□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度													
根拠法令等		なし													
2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）								
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の方向性		Ⅲ I：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了	
予算・決算	予算現額（円）		6,407,000		6,621,000										
	財源内訳	一般財源	6,407,000		6,621,000										
		特定財源等	0		0										
	支出済額（円）		6,383,414		6,411,433										
	不用額（円）		23,586		209,567										
執行率（％）		99.63%		96.83%											
実施内容		環境美化・環境保全に係るボランティア活動を展開した。 ・市内の市道等の清掃等といった環境保全活動 にいごまち美化パートナー、新座市環境保全協力員、その他清掃ボランティア団体 ・電柱等に貼られた違反簡易広告物を撤去する活動 違反簡易広告物除去推進員 ・町内会単位で年2回の清掃活動に協力してもらうもの 地域クリーン活動					今後の取組方針		今後も引き続き、活動の各ボランティア団体への支援を行っていき、事業の継続を図っていく。						
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度					令和8年度		令和9年度		
活動指標・成果指標	指標名	単位													
	ボランティア団体数	団体	11		11										
	違反簡易広告物除却推進団体数	団体	1		1										
	地域クリーン活動参加数	団体	55		57										

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）							3 事業評価（Check）					
基本政策		第4章 基本政策4 にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域		第4節 生活環境					事業の必要性【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目		施策1 安全で快適な環境の創出					事業の効率性【見直す余地】		A	A：余地はない B：余地はある		
事業		墓所管理					施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属		環境課					事業の成果・分析		指定管理及び返還墓所公募、また合葬式墓所の運用開始について、計画どおり実行することができた。 指定管理について、令和6年度は合葬式墓所運用に伴う、管理事務や使用料・管理料納付書発送等の業務増加となったが、人員を加配する等、計画的に運用が図られた。			
事業概要		市営墓園の墓所に係る維持管理を行う。 新座メモリアルグループを指定管理者とする（令和4年度～令和8年度）。										
実施形態		☐ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託・指定管理 ☐ その他										
実施根拠		☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度＋市独自の制度 ☒ 市独自の制度										
根拠法令等		新座市営墓園条例、新座市営墓園規則										
2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）					
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		
予算・決算	予算現額（円）		204,641,000		268,367,000							
	財源内訳	一般財源	34,013,000		89,235,000							
		特定財源等	170,628,000		179,132,000							
	支出済額（円）		203,825,075		241,285,260							
	不用額（円）		815,925		27,081,740							
	執行率（％）		99.60%		89.91%							
実施内容			新座市営墓園の墓所に係る維持管理（指定管理）及び墓所返還に係る事務を実施した。合葬式墓所公募により、園内改葬259名、一般公募100名が使用権利者となった。返還墓所公募については、返還墓所260基に対し、応募者全員102名が当選した。									
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		
活動指標・成果指標	指標名	単位										
	新座市営墓園定例会	回	12		12							
今後の方向性		Ⅲ		Ⅰ：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了								
今後の取組方針		令和4年度から令和8年度まで、新座メモリアルグループを指定管理者とすることとなっている。令和6年度から合葬式墓所を運用開始した。引き続き丁寧且つ確実に使用権利者に対応できるよう、指定管理者と連携していく。 合葬式墓所運用により、新座市営墓園一般墓所から合葬墓への改葬に伴い、一般墓所に空きが増えたため、返還墓所公募で応募者全員が一般墓所の使用権利者となった。また、後継がない等の問題に対しても対応している。このような昨今のニーズに対応した合葬式墓所は、引き続き指定管理者と密に連携し、運用に当たる必要がある。										

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）		
基本政策	第4章 基本政策4 にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】	
施策領域	第4節 生活環境	
施策項目	施策1 安全で快適な環境の創出	
事業	墓所施設整備	
所属	環境課	
事業概要	市営墓園の区画ブロックの老朽化が進んでいるため、境界石等の維持補修工事を行う。 また、市営墓園敷地内の危険木の伐採を行う。	
実施形態	☐ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託・指定管理 ☐ その他	
実施根拠	☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度＋市独自の制度 ☒ 市独自の制度	
根拠法令等	新座市営墓園条例、新座市営墓園規則	

3 事業評価（Check）		
事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある
施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
事業の成果・分析	・危険樹木及びナラ枯れ樹木の伐採 対象木伐採により、倒木等の危険に対して、市営墓園来園者や通行人の安全を確保した。 ・境界石の補修工事 墓所境界石劣化破損に対する、墓所使用者及び議員からの修繕要望に対応した。	

2 事業実績（Do）						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額（円）		87,366,000	21,751,000		
	財源内訳	一般財源	24,317,000	-60,000		
		特定財源等	63,049,000	21,811,000		
	支出済額（円）		82,021,500	21,021,000		
	不用額（円）		5,344,500	730,000		
	執行率（％）		93.88%	96.64%		
実施内容		・危険樹木及びナラ枯れ樹木の伐採 特別墓所地区、A地区、キツネノカミソリ自生地、B地区、C地区において、危険樹木20本とナラ枯れ樹木34本を伐採した。倒木等危険性のある樹木を樹木医が診断し、計画的に伐採等を実施した。 ・境界石の補修工事 20か所（境界石24本）を補修した。境界石材料の大谷石は経年劣化が激しく、また価格上昇で予算内の修繕本数に影響していたことから、令和6年度は資材を見直し御影石（大谷石に比べ耐久性とコストメリットがある）に変更して修繕した。				
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	指標名	単位				
活動指標・成果指標	危険樹木及びナラ枯れ樹木の伐採	本	44	54		
	境界石の補修工事	本	20	24		

4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）		
今後の方向性	Ⅲ	I：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了
今後の取組方針	樹木医による園内危険木調査で、枯れて倒木等の危険性が高い樹木が確認された。このため、必要性に応じて継続的に剪定伐採工事を行う必要がある。 また、墓所の区画ブロックにおいて、境界石及び門柱の崩れ等が発生している。補修対象基数が多いことから、毎年一定基数補修を行う予定である。	

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）		3 事業評価（Check）			
基本政策	第4章 基本政策4 にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】	事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第4節 生活環境				
施策項目	施策1 安全で快適な環境の創出	事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
事業	集会施設管理				
所属	環境課	事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業概要	市営墓園の集会施設（斎場、和室、洋室、安置室等）に係る維持管理を行う。 新座メモリアルグループを指定管理者とする（令和4年度～令和8年度）。				
実施形態	□市が直接実施 □一部委託 ■全部委託・指定管理 □その他	施策への貢献度	B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
実施根拠	□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度	事業の成果・分析		・集会施設の維持管理：大きな問題はなく、維持管理が行われた。 ・誘導灯、非常灯の交換工事：消防法遵守するとともに、非常時の施設利用者安全を確保した。 ・B斎場多目的トイレ換気扇交換工事：換気扇故障時の騒音や換気不足を解消した。	
根拠法令等	新座市営墓園条例、新座市営墓園規則				

2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）		
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性	Ⅲ Ⅰ：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了
予算・ 決算	予算現額（円）		35,312,000	40,653,000					
	財源内訳	一般財源	21,230,000	25,422,000					
		特定財源等	14,082,000	15,231,000					
	支出済額（円）		35,270,360	40,292,571					
	不用額（円）		41,640	360,429					
	執行率（％）		99.88%	99.11%					
実施内容			指定管理者による、市営墓園の集会施設に係る維持管理を実施した。 ・集会施設の維持管理：大きな問題はなく、維持管理が行われた。 ・誘導灯、非常灯の交換工事：消防設備保守点検で不点灯を指摘された7台について、交換工事を行った。 ・B斎場多目的トイレ換気扇交換工事：換気扇が老朽化で故障したため、故障した換気扇の交換工事を行った。 施設の修繕については、老朽化により突発的に生じたものであった。				今後の取組方針	引き続き、指定管理者による市営墓園の集会施設に係る維持管理を行う。 また、新座市営墓園の集会施設は老朽化している箇所が多いため、修繕が必要な箇所が判明した場合には、適宜修繕を行う必要がある。	
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			令和9年度
	指標名	単位							
活動 指標・ 成果 指標	市営墓園誘導灯、非常灯器具交換	台		7					
	市営墓園B 斎場多目的トイレ換気扇交換	台		1					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）							3 事業評価（Check）											
基本政策		第4章 基本政策 4 にぎわいと環境が調和するまち【市民生活】					事業の実施状況		B		A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず							
施策領域		第4節 生活環境					事業の必要性 【市民ニーズ】		A		A：高まっている B：変わらない C：薄れている							
施策項目		施策1 安全で快適な環境の創出					事業の効率性 【見直す余地】		B		A：余地はない B：余地はある							
事業		広域行政					施策への貢献度		A		A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い							
所属		政策課					事業の成果・分析				朝霞地区4市共用火葬場設置基本構想について、市民説明会（6回開催）及び意見募集を行い、広く意見を募った上で、策定することができた。 また、定期的に4市市長や所管の部課長を集めた会議を行うことで、朝霞地区4市間で進捗の確認、課題の共有等を行うことができた。 早期の施設整備に向けて整備手法、スケジュール等効率的な進め方を検討していく必要がある。							
事業概要		朝霞地区4市において、4市共用の火葬場の設置に向け、任意の協議会を設置して検討を行う。																
実施形態		☐ 市が直接実施 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☐ その他																
実施根拠		☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度＋市独自の制度 ☒ 市独自の制度																
根拠法令等		なし																
2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）											
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の方向性		Ⅲ		Ⅰ：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了		
予算・決算	予算現額（円）		19,000		8,967,000													
	財源内訳	一般財源	19,000		8,967,000													
		特定財源等	0		0													
	支出済額（円）		4,818		6,723,837													
	不用額（円）		14,182		2,243,163													
執行率（％）		25.36%		74.98%														
実施内容		朝霞地区4市共用火葬場設置検討のため、基本構想（案）を作成し、市民説明会及び意見募集を踏まえ、策定した。 また、定期的に協議会及び調整会議を開催し、協議を行った。 朝霞地区4市共用火葬場設置検討協議会の構成員 4人（4市の市長） 朝霞地区4市共用火葬場設置検討協議会調整会議の構成員 16人（4市の企画部門及び環境部門の部課長） 朝霞地区4市共用火葬場設置検討協議会事務局員 5人（志木市2人、3市1人ずつ）					今後の取組方針											
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度						令和8年度		令和9年度				
活動指標・成果指標	指標名	単位																
	協議会開催回数	回	2		3													
	調整会議開催回数	回	1		3													